

# シニア・プレシニア向けアンケート調査結果

2022年11月15日

東京都 福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課

# シニア・プレシニア向けアンケート調査の概要

- 都内のシニア・プレシニアのオンラインプラットフォームの活用にあたっての要望、課題等を把握することを目的として、都内のシニア・プレシニアを対象としたWebアンケート調査を実施。調査の概要は以下のとおり。

## シニア・プレシニアに関するアンケート調査

調査目的	<ul style="list-style-type: none"><li>都内のシニア・プレシニアのオンラインプラットフォームの活用にあたっての要望、課題等を把握すること</li></ul>
調査対象者	<ul style="list-style-type: none"><li><b>社会参加活動に関心があり、東京都内に住む50歳以上の男女</b>（≒オンラインプラットフォームのアーリーアダプター層） ※社会参加全般に関する意向は過年度調査にて確認済みのため、今回はアーリーアダプター層のニーズや課題認識を確認することを主とする想定。 ※Webアンケート調査での実施となるため、回答者は比較的ITリテラシーが高い層になる見込み。</li></ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"><li>調査会社の登録モニターへのWebアンケート調査</li></ul>
サンプル数	<ul style="list-style-type: none"><li>最大2,000サンプル ※スクリーニング調査後のサンプル数</li></ul>
割り付け条件	<ul style="list-style-type: none"><li>「社会参加活動に関心がある」かつ「都内在住」かつ「50代以上」を条件としたスクリーニング調査により対象を抽出。</li><li>50代、60代、70代の3区分についてそれぞれ約500サンプル確保する。</li><li>80代以上については最大500サンプルとして実査期間中に回収できた件数までとする。</li><li>50代、60代、70代の3区分については男女比が均等になるようにする。</li></ul>
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>基本情報（世帯構成、身体の状態、ICT機器等の利用状況）</li><li>社会参加活動の実施状況</li><li>オンラインプラットフォームの活用に関する認識</li><li>広域的な社会参加活動の現状・ニーズ</li></ul>

※当アンケートにおけるプレシニアとは概ね50歳～65歳の方を想定

# シニア・プレシニア向けアンケート調査の施策への影響（設問の意義等）

- 調査項目ごとの具体的な設問及び施策への影響（設問の意義等）は以下のとおり。

調査項目	設問	施策への影響（設問の意義等）
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>世帯構成</li> <li>身体の状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本情報のため施策等への影響は特段なし。</li> </ul>
社会参加活動の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施している社会参加活動の内容・頻度・理由</li> <li>社会参加活動の今後の実施意向</li> <li>社会参加活動に関する情報の入手状況・方法</li> <li>社会参加活動を行う際に相談・利用している窓口</li> <li>一緒に社会参加活動を行いたい方の属性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラットフォームの必要性・意義の訴求</li> <li>広報・普及啓発方法への活用</li> <li>案件情報の収集経路の把握</li> <li>相談支援窓口に対する施策検討</li> <li>プラットフォームの機能設計への影響</li> </ul>
オンラインプラットフォームの活用に関する認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインプラットフォームの利用意向</li> <li>オンラインプラットフォームに求める機能</li> <li>オンラインプラットフォームを利用する際に用いる機器</li> <li>オンラインプラットフォームを利用したいと思わない理由</li> <li>オンラインプラットフォームの活用にあたって必要な支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラットフォームの必要性・意義の訴求</li> <li>プラットフォームの機能設計への影響</li> <li>プラットフォームのレスポンスデザインへの影響</li> <li>プラットフォームの普及に向けた支援施策への影響</li> </ul>
広域的な社会参加活動の現状・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の区市町村の活動への参加状況</li> <li>他の区市町村の活動への参加理由</li> <li>他の区市町村の活動参加するにあたっての課題・ハードル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラットフォームの必要性・意義の訴求</li> <li>プラットフォームの機能設計への影響</li> </ul>

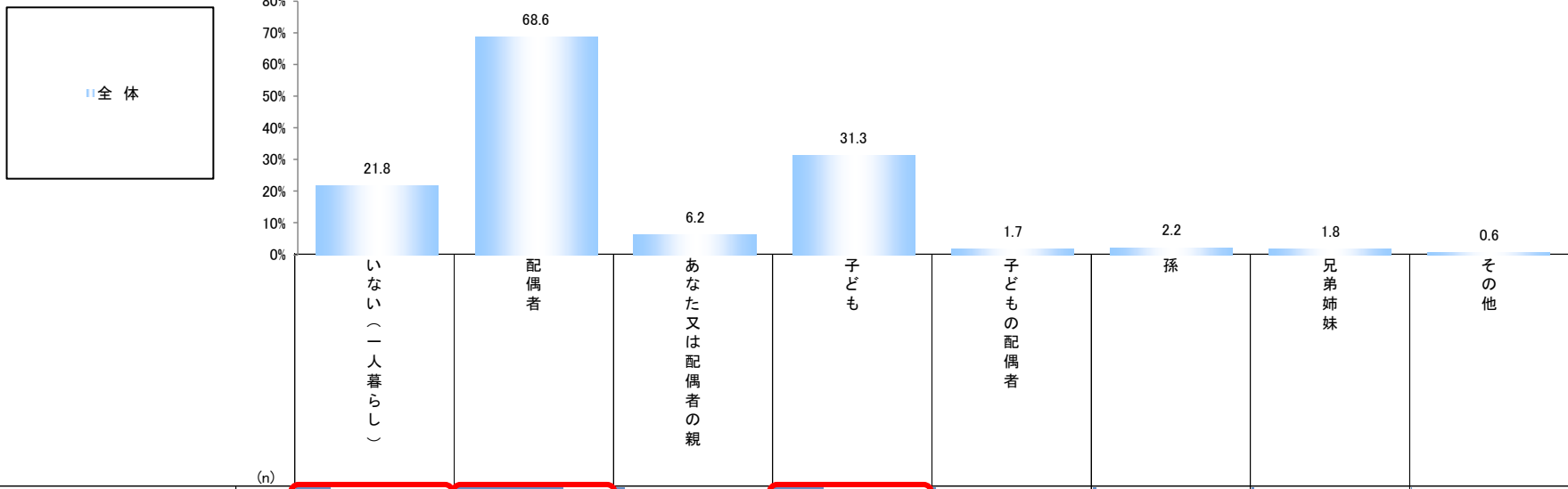
# 1. 基本情報

## (1) 世帯構成

- 回答者の世帯構成としては、全体では「独居（一人暮らし）」が21.8%で、8割弱は同居人ありであった。
- 同居している家族の属性としては、「配偶者」が68.6%で最も割合が大きく、次いで「子ども」が31.3%であった。

1. 基本情報（1）世帯構成  
現在一緒にお住まいの方は次のうちどなたですか。（複数選択）

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,908】



		(n)	いない（一人暮らし）	配偶者	あなた又は配偶者の親	子ども	子どもの配偶者	孫	兄弟姉妹	その他
全体		1908	21.8	68.6	6.2	31.3	1.7	2.2	1.8	0.6
性別×年代	男性×50代	250	27.2	59.6	16.0	42.4	0.8	0.0	4.0	1.2
	男性×60代	250	15.6	80.0	8.8	40.4	0.8	2.0	1.2	0.4
	男性×70代	341	10.3	86.5	2.1	28.2	2.6	3.5	0.6	0.0
	男性×80代以上	159	10.1	86.2	0.0	20.1	4.4	6.3	0.0	0.0
	女性×50代	250	23.2	63.2	10.0	37.6	0.4	0.0	3.2	1.2
	女性×60代	250	23.6	63.6	7.2	30.0	0.8	1.2	1.2	0.8
	女性×70代	363	33.3	53.7	1.4	21.8	1.9	2.8	2.2	0.6
	女性×80代以上	45	42.2	33.3	2.2	31.1	4.4	4.4	0.0	0.0

# 1. 基本情報

## (2) 身体の状態

- 回答者の身体の状態としては、全体では「普通に生活ができる」が87.9%であった。
- 性別・年代別にみると、80代以上では「日常生活も外出もほぼ自分でできる」の割合が男性で27.7%、女性で24.4%とやや大きくなっているが、介助が必要な方は1割未満であった。

### 1. 基本情報 (2) 身体の状態

あなたの身体の状態としてあてはまるものをご回答ください。(1つ選択)

【単純集計、クロス集計(性別×年代)、n=1,908】

		該当数	普通に生活ができる	日常生活も外出もほぼ自分でできる	外出時だけ介助(手助け)が必要	日常生活に介助(手助け)が必要	全面的に介助(手助け)が必要(寝たきり等)
全体		1908	87.9	10.5	0.7	0.8	0.0
性別×年代	男性×50代	250	94.0	5.2	0.8	0.0	0.0
	男性×60代	250	93.6	5.2	0.0	1.2	0.0
	男性×70代	341	85.6	12.9	0.6	0.9	0.0
	男性×80代以上	159	67.3	27.7	3.8	1.3	0.0
	女性×50代	250	94.8	4.0	0.4	0.8	0.0
	女性×60代	250	92.4	6.4	0.0	1.2	0.0
	女性×70代	363	85.4	13.5	0.3	0.8	0.0
	女性×80代以上	45	71.1	24.4	4.4	0.0	0.0

## 2. 社会参加活動の実施状況

### (1) 実施している社会参加活動の内容・頻度：就労

- 就労を「実施していない」割合は全体では49.3%であった。
- 男女ともに、年代が上がるにつれて「実施していない」の割合が大きくなる傾向がみられた。

2. 社会参加活動の実施状況 (1) 実施している社会参加活動の内容・頻度：就労  
社会参加活動の実施状況としてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(それぞれ1つ選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,908】

- ほとんど毎日実施している(1週間に5～7日くらい)
- 週に数日実施している(1週間に2～4日くらい)
- 月に2～3日実施をしている(1週間に1日くらい)
- 年に数回くらい実施している(月に1日未満)
- 実施していない



## 2. 社会参加活動の実施状況

### (1) 実施している社会参加活動の内容・頻度：ボランティア活動

- ボランティア活動を「実施していない」割合は全体では65.7%であった。
- 女性は、年代が上がるにつれて「実施していない」の割合が小さくなる傾向がみられた。

2. 社会参加活動の実施状況 (1) 実施している社会参加活動の内容・頻度：ボランティア活動  
社会参加活動の実施状況としてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(それぞれ1つ選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,908】

- ほとんど毎日実施している(1週間に5～7日くらい)
- 週に数日実施している(1週間に2～4日くらい)
- 月に2～3日実施をしている(1週間に1日くらい)
- 年に数回くらい実施している(月に1日未満)
- 実施していない

		(n)					(%)
全体		1908	1.2	4.0	9.2	19.9	65.7
性別 × 年代	男性×50代	250	0.8	0.8	8.4	22.8	67.2
	男性×60代	250	2.8	0.8	6.0	22.0	68.4
	男性×70代	341	2.1	6.2	12.0	21.1	58.7
	男性×80代以上	159	1.3	3.1	13.2	15.1	67.3
	女性×50代	250	2.4	0.8	4.0	20.8	72.0
	女性×60代	250	1.2	2.8	8.4	18.0	69.6
	女性×70代	363	0.8	6.3	11.6	18.5	62.8
	女性×80代以上	45	2.2	11.1	11.1	17.8	57.8

## 2. 社会参加活動の実施状況

### (1) 実施している社会参加活動の内容・頻度：学び・趣味活動

- ・ 学び・趣味活動を「実施していない」割合は全体では24.4%であった。
- ・ いずれの性別・年代でも「実施していない」割合は20%台であった。

2. 社会参加活動の実施状況 (1) 実施している社会参加活動の内容・頻度：学び・趣味活動  
 社会参加活動の実施状況としてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(それぞれ1つ選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,908】

- ほとんど毎日実施している(1週間に5～7日くらい)
- 週に数日実施している(1週間に2～4日くらい)
- 月に2～3日実施をしている(1週間に1日くらい)
- 年に数回くらい実施している(月に1日未満)
- 実施していない

		(n)	(%)				
全体		1908	10.9	22.3	26.3	16.1	24.4
性別 × 年代	男性×50代	250	9.6	20.8	25.2	18.8	25.6
	男性×60代	250	10.4	18.0	24.8	18.4	28.4
	男性×70代	341	12.9	20.5	29.9	15.2	21.4
	男性×80代以上	159	8.8	21.4	28.9	15.7	25.2
	女性×50代	250	11.6	18.0	25.2	18.8	26.4
	女性×60代	250	9.6	23.6	26.0	15.2	25.6
	女性×70代	363	10.5	30.3	25.1	12.9	21.2
	女性×80代以上	45	20.0	22.2	22.2	11.1	24.4



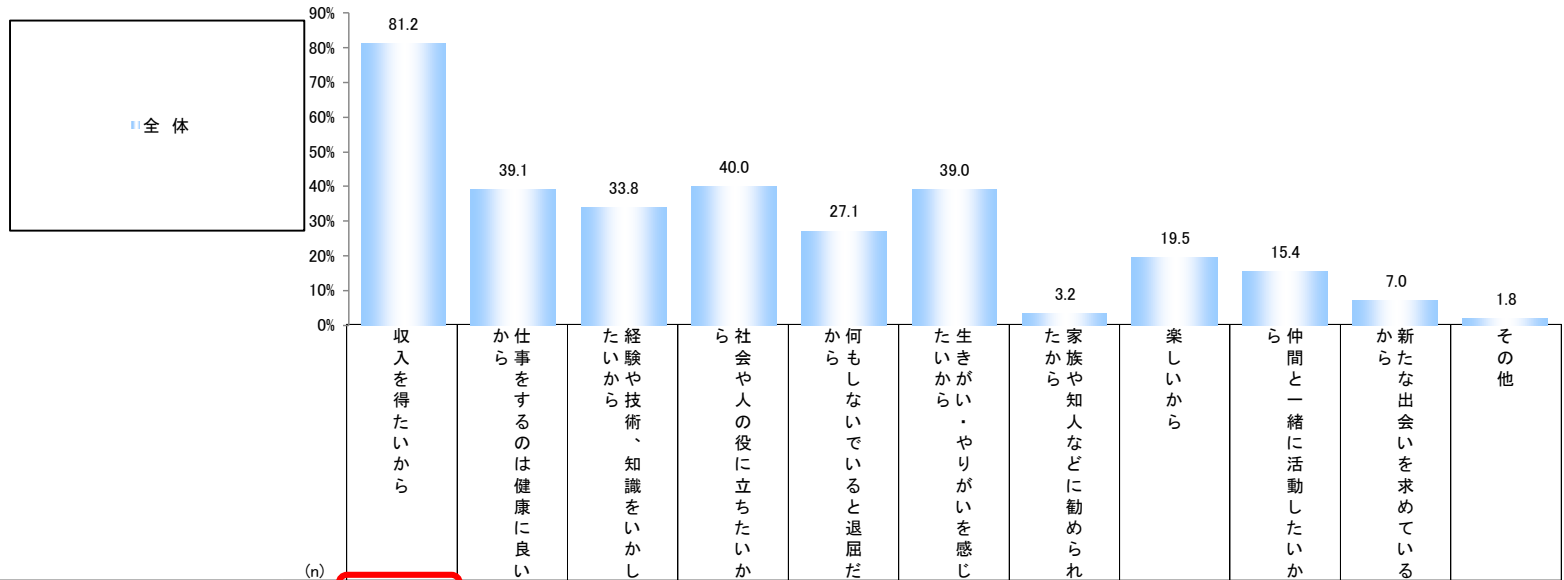
## 2. 社会参加活動の実施状況

### (2) 社会参加活動を実施している理由：就労

- 就労をしている理由としては、全体では「収入を得たいから」が81.2%で突出して割合が大きい。
- 性別・年代別にみても「収入を得たいから」の割合が大きい傾向は同様だが、年代が上がるにつれて「仕事をするのは健康に良いから」といった収入以外の割合が大きくなっていった。

#### 2. 社会参加活動の実施状況 (2) 社会参加活動を実施している理由：就労 あなたが就労をしている理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(複数選択)

【単純集計、クロス集計(性別×年代)、n=967】



(n)		収入を得たいから	仕事をするのは健康に良いから	経験や技術、知識をいかしたいから	社会や人の役に立ちたいから	何もしないでいると退屈だから	生きがい・やりがいを感じたいから	家族や知人などに勧められたから	楽しいから	仲間と一緒に活動したいから	新たな出会いを求めているから	その他	
全体	967	81.2	39.1	33.8	40.0	27.1	39.0	3.2	19.5	15.4	7.0	1.8	
性別×年代	男性×50代	220	91.4	19.5	25.0	35.9	17.7	31.8	2.3	11.4	9.5	5.5	2.3
	男性×60代	190	84.2	38.9	31.1	37.4	35.8	38.4	2.1	11.1	12.1	7.4	1.6
	男性×70代	150	63.3	58.7	41.3	42.7	27.3	38.0	5.3	23.3	24.7	8.7	1.3
	男性×80代以上	24	50.0	62.5	41.7	45.8	29.2	45.8	0.0	16.7	12.5	20.8	0.0
	女性×50代	171	90.1	27.5	30.4	41.5	26.9	38.6	1.2	21.1	14.6	4.1	0.6
	女性×60代	132	81.8	47.0	41.7	40.9	31.8	47.7	3.8	31.8	18.2	7.6	2.3
	女性×70代	75	68.0	62.7	42.7	44.0	25.3	46.7	9.3	30.7	20.0	9.3	2.7
	女性×80代以上	5	80.0	40.0	40.0	80.0	0.0	40.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0

## 2. 社会参加活動の実施状況

### (3) 社会参加活動を実施している理由：ボランティア活動

- ボランティア活動をしている理由としては、全体では「社会や人の役に立ちたいから」が69.7%で突出して割合が大きい。
- 年代が上がるにつれて「活動をするのは健康によいから」、「生きがい・やりがいを感じたいから」、「仲間と一緒に活動したいから」といった収入以外の割合が大きくなっていった。

2. 社会参加活動の実施状況 (3) 社会参加活動を実施している理由：ボランティア活動  
 あなたがボランティア活動をしている理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(複数選択)

【単純集計、クロス集計(性別×年代)、n = 654】



## 2. 社会参加活動の実施状況

### (4) 社会参加活動を実施している理由：学び・趣味活動

- 学び・趣味活動をしている理由としては、全体では「楽しいから」が61.5%で最も割合が大きく、次いで「生きがい・やりがいを感じたいから」が49.2%であった。
- 年代が上がるにつれて「活動をするのは健康によいから」、「仲間と一緒に活動したいから」の割合が大きくなっていった。

#### 2. 社会参加活動の実施状況 (4) 社会参加活動を実施している理由：学び・趣味活動

あなたが学び・趣味活動をしている理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(複数選択)

[単純集計、クロス集計(性別×年代)、n=1,442]



## 2. 社会参加活動の実施状況

### (5) 社会参加活動の今後の実施意向：就労

- 就労の今後の実施意向としては、全体では「実施したいと思う」が58.2%であった。
- 性別・年代別にみると、年代が上がるにつれ、実施意向が低下する傾向があり、「実施したいと思う」の割合は「男性80代以上」では27.0%「女性80代以上」では13.3%であった。

2. 社会参加活動の実施状況 (5) 社会参加活動の今後の実施意向：就労  
 社会参加活動の今後の実施意向としてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(それぞれ1つ選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,908】

■ 実施したいと思う ■ 実施したいと思わない ■ その他

		(n)	(%)		
全体		1908	58.2	40.8	1.0
性別 × 年代	男性×50代	250	89.6	10.4	0.0
	男性×60代	250	76.0	23.6	0.4
	男性×70代	341	48.7	49.3	2.1
	男性×80代以上	159	27.0	72.3	0.6
	女性×50代	250	83.2	16.4	0.4
	女性×60代	250	64.0	35.6	0.4
	女性×70代	363	31.1	67.5	1.4
	女性×80代以上	45	13.3	77.8	8.9

## 2. 社会参加活動の実施状況

### (5) 社会参加活動の今後の実施意向：ボランティア活動

- 学び・趣味活動の今後の実施意向としては、全体では「実施したいと思う」が72.1%であった。
- 性別・年代別にみると、「男性80代以上」のみ62.3%とやや割合が小さい傾向があったが、その他の区分は「実施したいと思う」の割合はいずれも7割を超えていた。

2. 社会参加活動の実施状況 (5) 社会参加活動の今後の実施意向：ボランティア活動  
 社会参加活動の今後の実施意向としてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(それぞれ1つ選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,908】

■ 実施したいと思う    ■ 実施したいと思わない    ■ その他

		(n)	%		
全体		1908	72.1	24.6	3.2
性別 × 年代	男性×50代	250	75.6	21.6	2.8
	男性×60代	250	70.4	26.4	3.2
	男性×70代	341	70.4	26.4	3.2
	男性×80代以上	159	62.3	35.8	1.9
	女性×50代	250	77.6	19.6	2.8
	女性×60代	250	75.2	21.2	3.6
	女性×70代	363	70.5	25.6	3.9
	女性×80代以上	45	75.6	17.8	6.7

## 2. 社会参加活動の実施状況

### (5) 社会参加活動の今後の実施意向：学び・趣味活動

- 学び・趣味活動の今後の実施意向としては、全体では「実施したいと思う」が91.2%であった。
- 性別・年代別にみても、いずれの区分も「実施したいと思う」が9割前後であった。

2. 社会参加活動の実施状況 (5) 社会参加活動の今後の実施意向：学び・趣味活動  
 社会参加活動の今後の実施意向としてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(それぞれ1つ選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,908】

■ 実施したいと思う    ■ 実施したいと思わない    ■ その他

		(n)			(%)
全体		1908	91.2	8.0	0.8
性別 × 年代	男性×50代	250	92.8	6.0	1.2
	男性×60代	250	88.8	10.4	0.8
	男性×70代	341	90.3	8.5	1.2
	男性×80代以上	159	86.8	12.6	0.6
	女性×50代	250	92.8	7.2	0.0
	女性×60代	250	90.4	9.2	0.4
	女性×70代	363	93.7	5.2	1.1
	女性×80代以上	45	93.3	6.7	0.0

## 2. 社会参加活動の実施状況

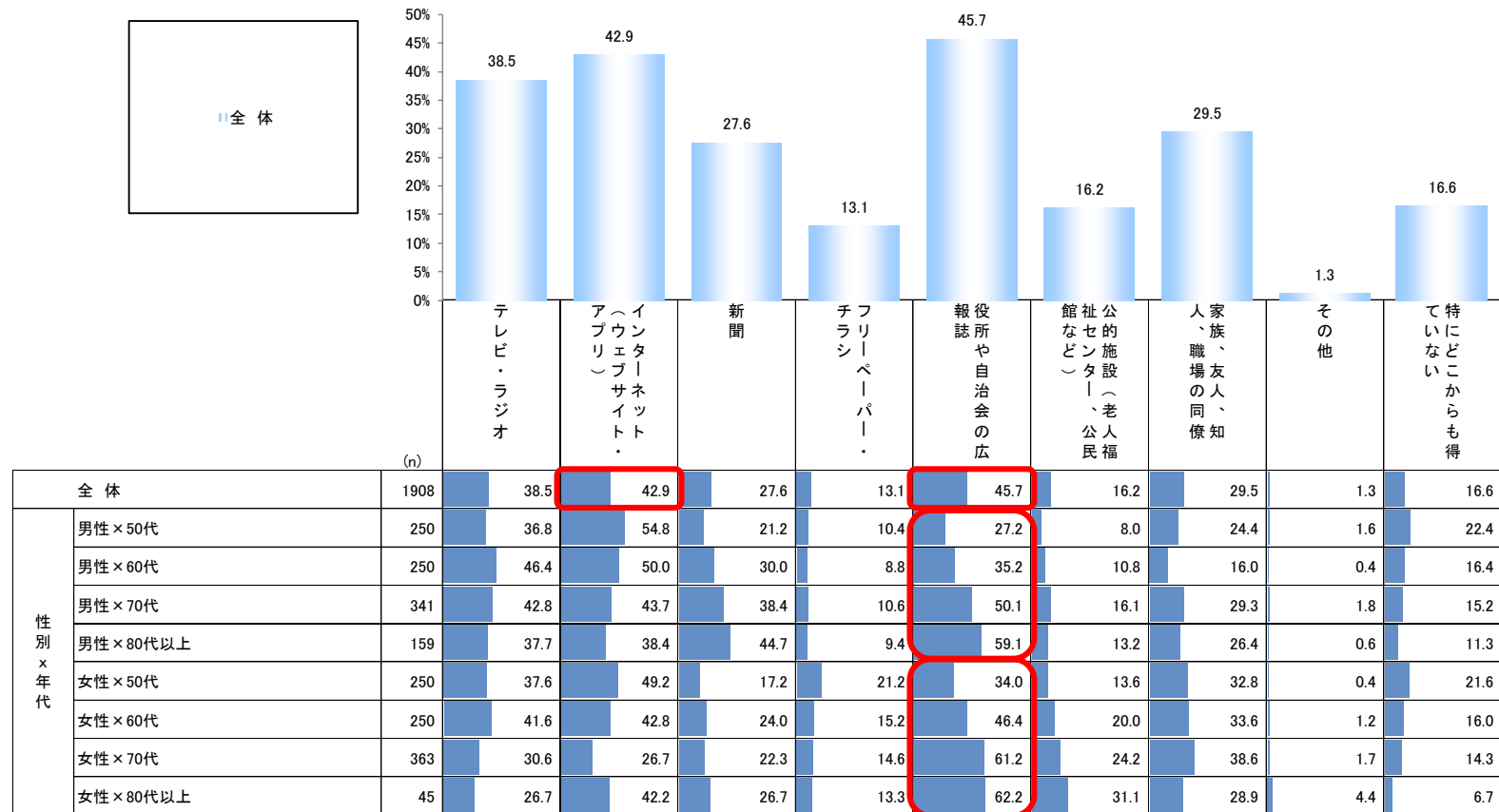
### (6) 社会参加活動に関する情報の入手状況・方法

- 社会参加活動に関する情報の入手状況・方法としては、全体では「役所や自治会の広報誌」が45.7%で最も割合が大きく、次いで「インターネット」が42.9%であった。
- 男女ともに、年代が上がるにつれて「役所や自治会の広報誌」の割合が大きくなる傾向がみられた。

#### 2. 社会参加活動の実施状況 (6) 社会参加活動に関する情報の入手状況・方法

あなたは「社会参加活動」に関する情報をどこから得ていますか。特に情報を得ていない場合は「特にどこからも得ていない」を選択してください。(複数選択)

【単純集計、クロス集計 (性別×年代)、n = 1,908】



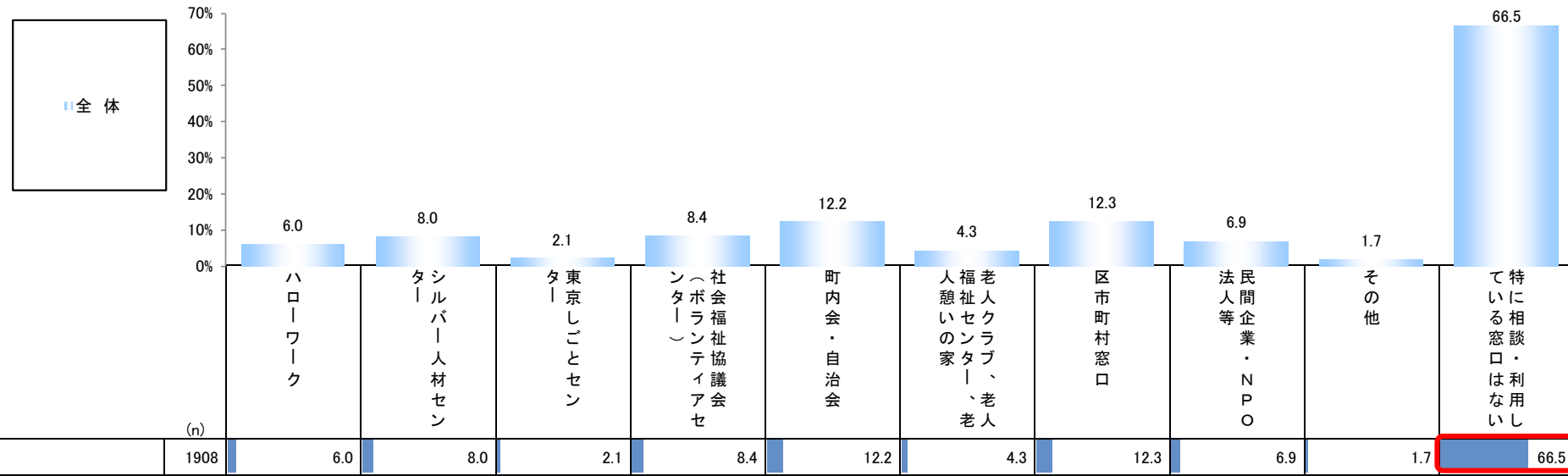
## 2. 社会参加活動の実施状況

### (7) 社会参加活動を行う際に相談・利用している窓口

- 社会参加活動を行う際に相談・利用している窓口としては、全体、性別・年代別のいずれでも「特に相談・利用している窓口はない」が最も割合が大きく、全体では66.5%であった。

2. 社会参加活動の実施状況 (7) 社会参加活動を行う際に相談・利用している窓口  
 あなたが「社会参加活動」を行う際に相談・利用している窓口としてあてはまるものをすべて選択してください。特に相談等をしていない場合は「特に相談・利用している窓口はない」を選択してください。(複数選択)

【単純集計、クロス集計(性別×年代)、n = 1,908】



		(n)	ハローワーク	シルバー人材センター	東京しごとセンター	社会福祉協議会(ボランティアセンター)	町内会・自治会	老人クラブ、老人憩いの家	区市町村窓口	民間企業・NPO 法人等	その他	特に相談・利用しない
全体		1908	6.0	8.0	2.1	8.4	12.2	4.3	12.3	6.9	1.7	66.5
性別×年代	男性×50代	250	8.0	4.0	4.0	6.4	11.6	1.6	14.8	12.4	1.6	66.8
	男性×60代	250	10.8	8.4	3.6	7.2	10.4	1.2	12.8	6.8	1.6	69.2
	男性×70代	341	6.2	15.0	1.8	8.2	16.1	4.4	12.6	6.7	2.1	61.6
	男性×80代以上	159	2.5	13.2	0.6	13.8	22.0	11.3	17.6	5.7	3.8	52.8
	女性×50代	250	8.0	2.4	3.2	6.4	5.6	2.0	8.0	7.6	2.0	74.0
	女性×60代	250	5.2	6.0	1.2	6.8	7.2	2.0	8.4	5.2	1.2	77.2
	女性×70代	363	2.8	7.2	0.8	10.5	13.5	7.4	13.5	4.7	0.8	63.6
	女性×80代以上	45	0.0	6.7	0.0	13.3	15.6	11.1	8.9	6.7	2.2	57.8



## 2. 社会参加活動の実施状況

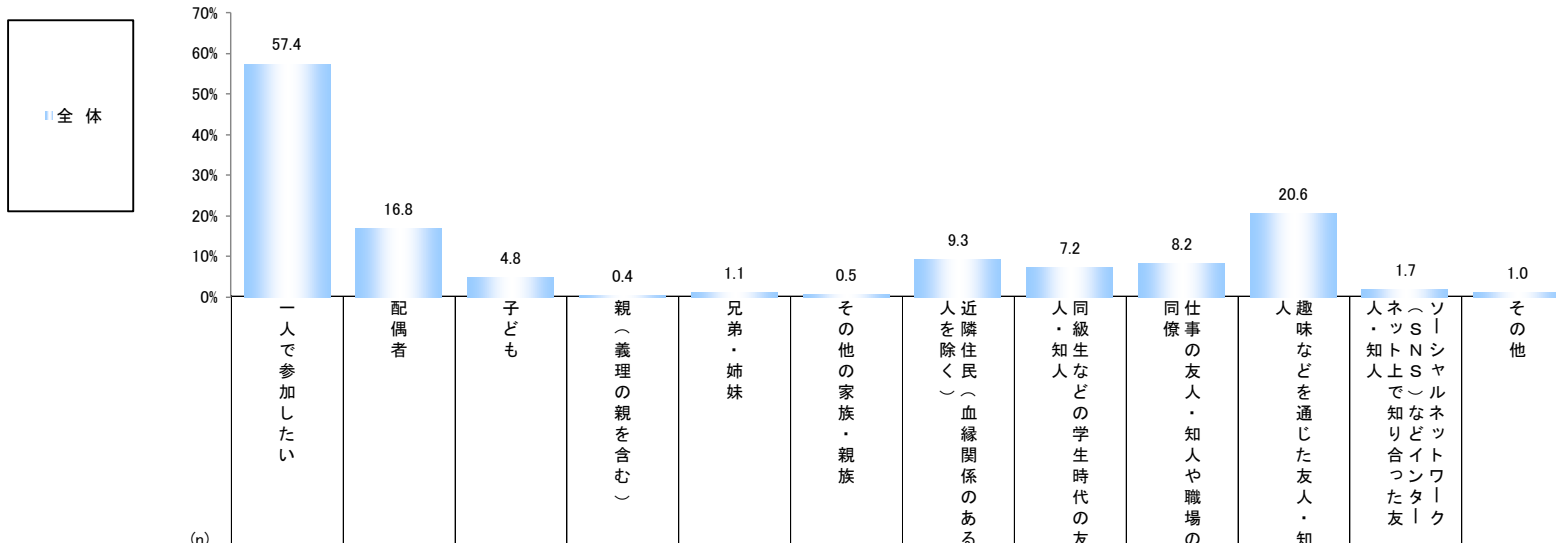
### (8) 一緒に社会参加活動を行いたい方の属性

- 一緒に社会参加活動を行いたい方の属性としては、全体では「一人で参加したい」が57.4%で最も割合が大きく、次いで「趣味などを通じた友人・知人」が20.6%、配偶者が16.8%であった。

#### 2. 社会参加活動の実施状況 (8) 一緒に社会参加活動を行いたい方の属性

あなたは社会参加活動を行う際に、誰かと一緒に参加したいと思いますか。一緒に参加したい方としてあてはまるものをすべて選択してください。一人で参加したいと考える方は「一人で参加したい」を選択してください。(複数選択)

【単純集計、クロス集計 (性別×年代)、n = 1,908】



		(n)	一人で参加したい	配偶者	子ども	親 (義理の親を含む)	兄弟・姉妹	その他の家族・親族	近隣住民 (血縁関係のある人を除く)	同級生などの学生時代の友人・知人	仕事の友人・知人や職場の同僚	趣味などを通じた友人・知人	ネット上で知り合った友人	その他
全体		1908	57.4	16.8	4.8	0.4	1.1	0.5	9.3	7.2	8.2	20.6	1.7	1.0
性別×年代	男性×50代	250	59.2	25.6	10.4	0.4	0.4	0.0	5.2	6.0	8.8	16.4	2.4	0.0
	男性×60代	250	66.4	17.2	5.2	0.8	0.4	0.0	6.0	4.4	9.2	10.0	1.2	1.6
	男性×70代	341	61.9	16.4	2.3	0.3	0.0	0.3	9.4	8.2	6.5	18.2	1.5	1.5
	男性×80代以上	159	54.1	18.2	0.6	0.6	0.6	2.5	13.2	5.7	8.2	27.7	3.1	1.3
	女性×50代	250	49.6	21.6	8.4	0.8	2.4	0.4	8.8	8.8	13.2	19.6	2.8	0.4
	女性×60代	250	56.4	14.4	3.6	0.0	1.2	0.4	7.6	10.0	8.8	20.8	1.2	0.4
	女性×70代	363	54.3	10.2	3.0	0.3	2.2	0.6	14.0	6.9	5.2	29.2	1.1	1.1
	女性×80代以上	45	51.1	4.4	4.4	0.0	2.2	0.0	11.1	4.4	6.7	31.1	0.0	4.4

### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

#### （1）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の利用意向

- 全体のうち、オンラインプラットフォームを「利用したいと思う」は割合は61.0%であった。
- 年代が上がるにつれて利用意向は低下する傾向があるが、80代以上でも「利用したいと思う」が過半数を占める。

#### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

##### （1）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の利用意向

「オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）」の利用意向として当てはまるものを選択してください。（1つ選択）

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,908】

■ 利用したいと思う   ■ 利用したいと思わない   ■ その他

		(n)	(%)		
全 体		1908	61.0	35.4	3.6
性別 × 年代	男性×50代	250	64.8	32.4	2.8
	男性×60代	250	68.0	28.0	4.0
	男性×70代	341	61.0	36.1	2.9
	男性×80代以上	159	52.8	45.3	1.9
	女性×50代	250	67.2	30.8	2.0
	女性×60代	250	58.4	34.8	6.8
	女性×70代	363	55.6	40.8	3.6
	女性×80代以上	45	51.1	40.0	8.9

### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

#### （2）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）に求める機能

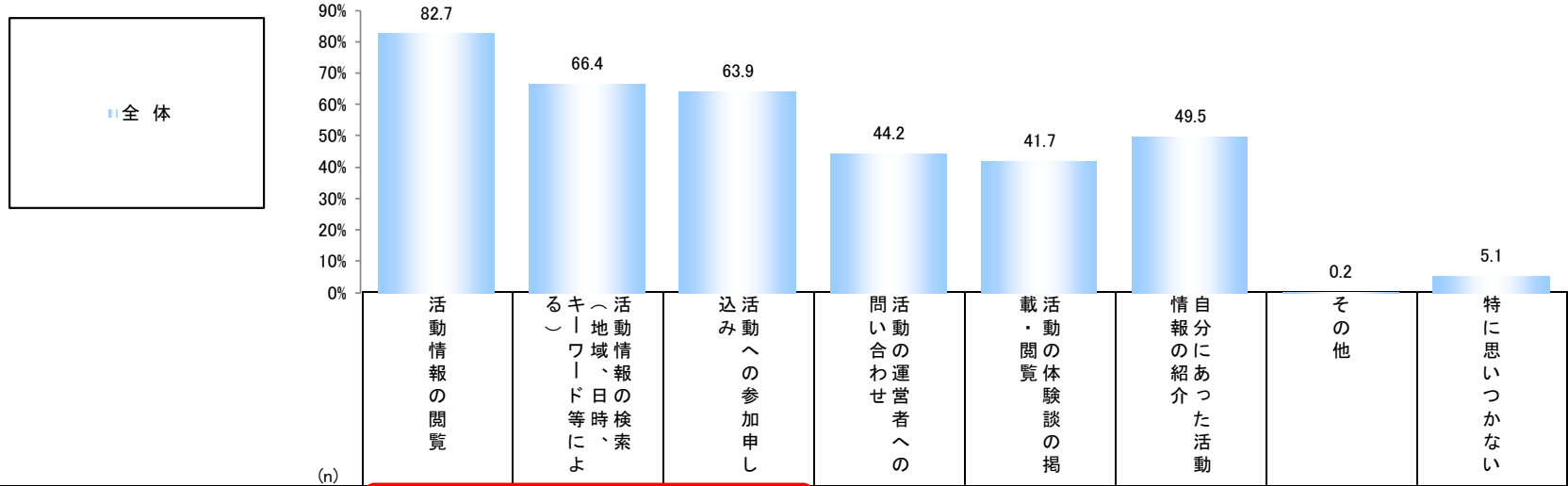
- オンラインプラットフォームを求める機能としては「活動情報の閲覧」が82.7%で最も割合が大きく、次いで「活動情報の検索」が66.4%、「活動への参加申し込み」が63.9%であった。性別・年代別で大きな傾向の差はみられなかったが、「自分にあった活動情報の紹介」については、年代が上がるほど回答割合が大きくなる傾向がみられた。

#### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

##### （2）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）に求める機能

「オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）」に求める機能として、あてはまるものを全て選択してください。（複数選択）

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,163】



		(n)	活動情報の閲覧	活動情報の検索	活動への参加申し込み	活動の運営者への問い合わせ	活動の体験談の掲載	自分にあった活動情報の紹介	その他	特に思いつかない
全体		1163	82.7	66.4	63.9	44.2	41.7	49.5	0.2	5.1
性別×年代	男性×50代	162	80.9	64.2	64.2	46.3	42.6	38.9	0.0	8.6
	男性×60代	170	84.1	60.6	62.9	40.6	31.8	34.7	0.0	5.9
	男性×70代	208	83.7	73.1	67.8	46.2	38.9	50.5	0.5	4.3
	男性×80代以上	84	79.8	64.3	50.0	35.7	38.1	66.7	0.0	1.2
	女性×50代	168	83.9	65.5	67.3	49.4	41.7	47.0	0.0	8.3
	女性×60代	146	83.6	67.1	68.5	45.2	48.6	52.7	0.0	4.1
	女性×70代	202	82.7	69.3	61.9	42.1	50.0	62.4	0.5	2.0
	女性×80代以上	23	73.9	47.8	47.8	43.5	30.4	47.8	0.0	4.3

### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

#### （3）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）を利用する際に用いる機器

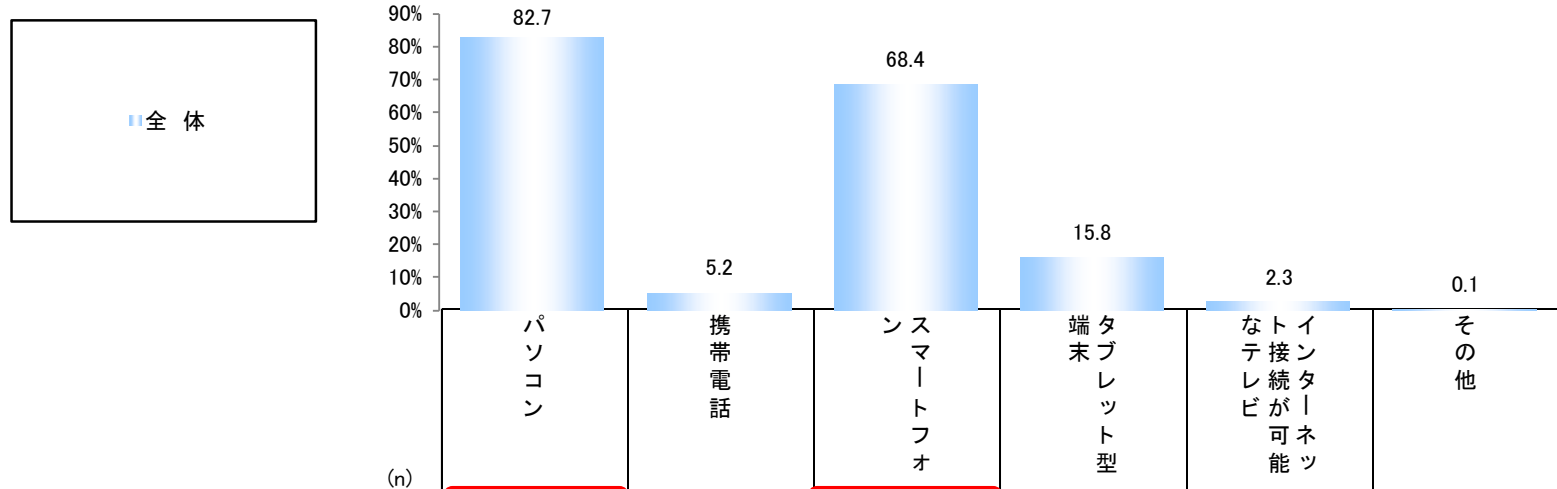
- オンラインプラットフォームを利用する際に用いる機器としては「パソコン」が82.7%で最も割合が大きく、次いで「スマートフォン」が68.4%であった。性別・年代別でも「パソコン」、「スマートフォン」の割合が大きい傾向が同様であったが、男性は年代が上がるほど「スマートフォン」の割合が大きく低下する傾向がみられた。

#### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

##### （3）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）を利用する際に用いる機器

「オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）」を利用する際にあなたが用いる可能性がある情報端末等として、あてはまるものを全て選択してください。（複数選択）

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1,163】



		(n)	パソコン	携帯電話	スマートフォン	タブレット型	インターネット接続可能なテレビ	その他
全体		1163	82.7	5.2	68.4	15.8	2.3	0.1
性別×年代	男性×50代	162	81.5	7.4	80.2	16.7	2.5	0.0
	男性×60代	170	81.8	2.9	69.4	13.5	2.4	0.0
	男性×70代	208	91.8	3.8	62.0	18.3	2.9	0.0
	男性×80代以上	84	95.2	7.1	41.7	4.8	3.6	0.0
	女性×50代	168	72.6	4.8	76.8	20.8	3.0	0.0
	女性×60代	146	82.2	6.2	69.2	16.4	1.4	0.0
	女性×70代	202	80.2	4.5	68.3	14.9	1.5	0.0
	女性×80代以上	23	69.6	13.0	65.2	13.0	0.0	4.3

### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

#### （4）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）を利用したいと思わない理由

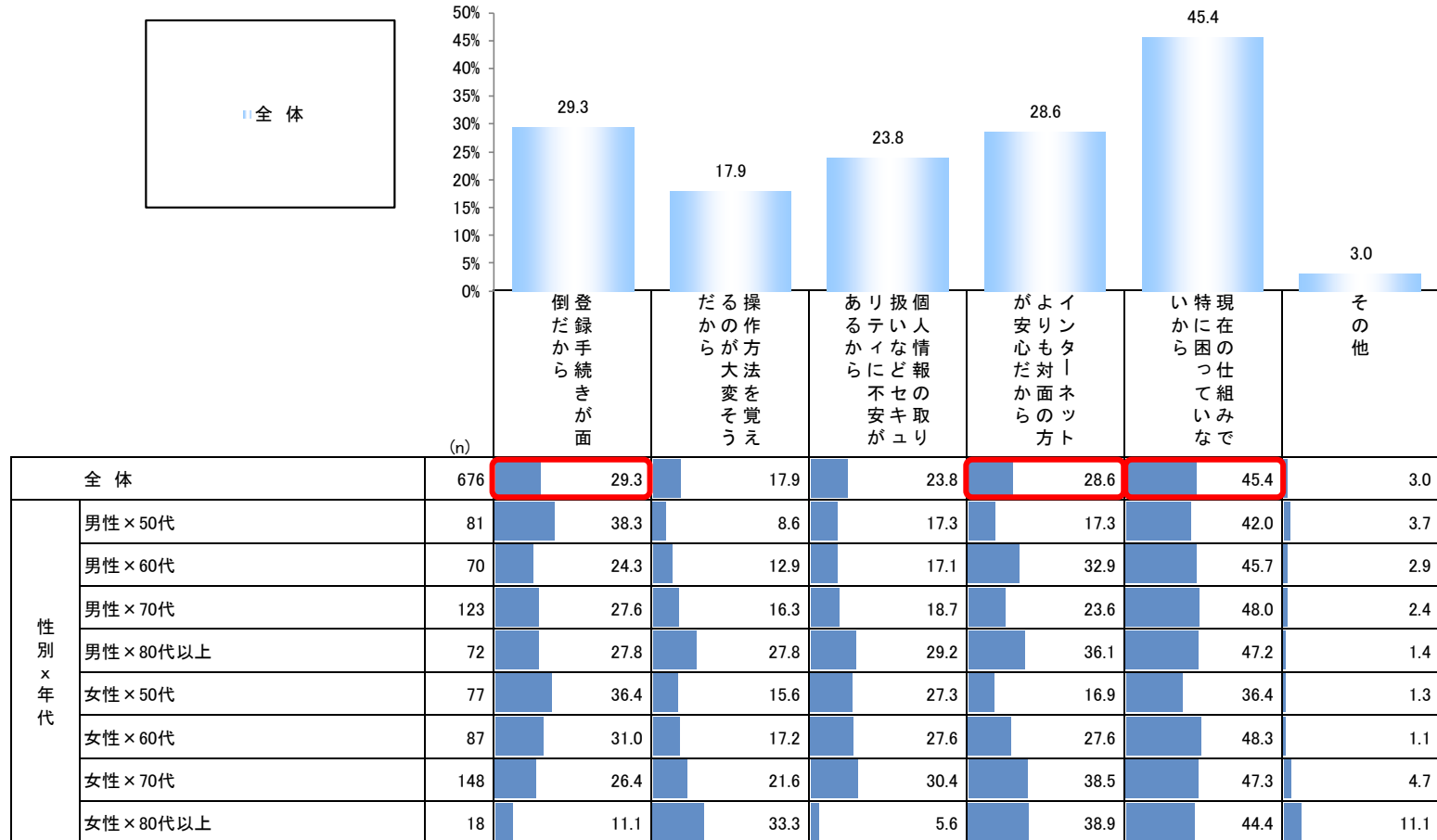
- オンラインプラットフォームを利用したいと思わない理由としては「現在の仕組みで特に困っていないから」が45.4%で最も割合が大きく、次いで「登録手続きが面倒だから」が29.3%、「インターネットよりも対面の方が安心だから」が28.6%であった。

#### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

##### （4）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）を利用したいと思わない理由

「オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）」を利用したいと思わない理由として、あてはまるものを全て選択してください。（複数選択）

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 676】



### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

#### （5）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用にあたって必要な支援

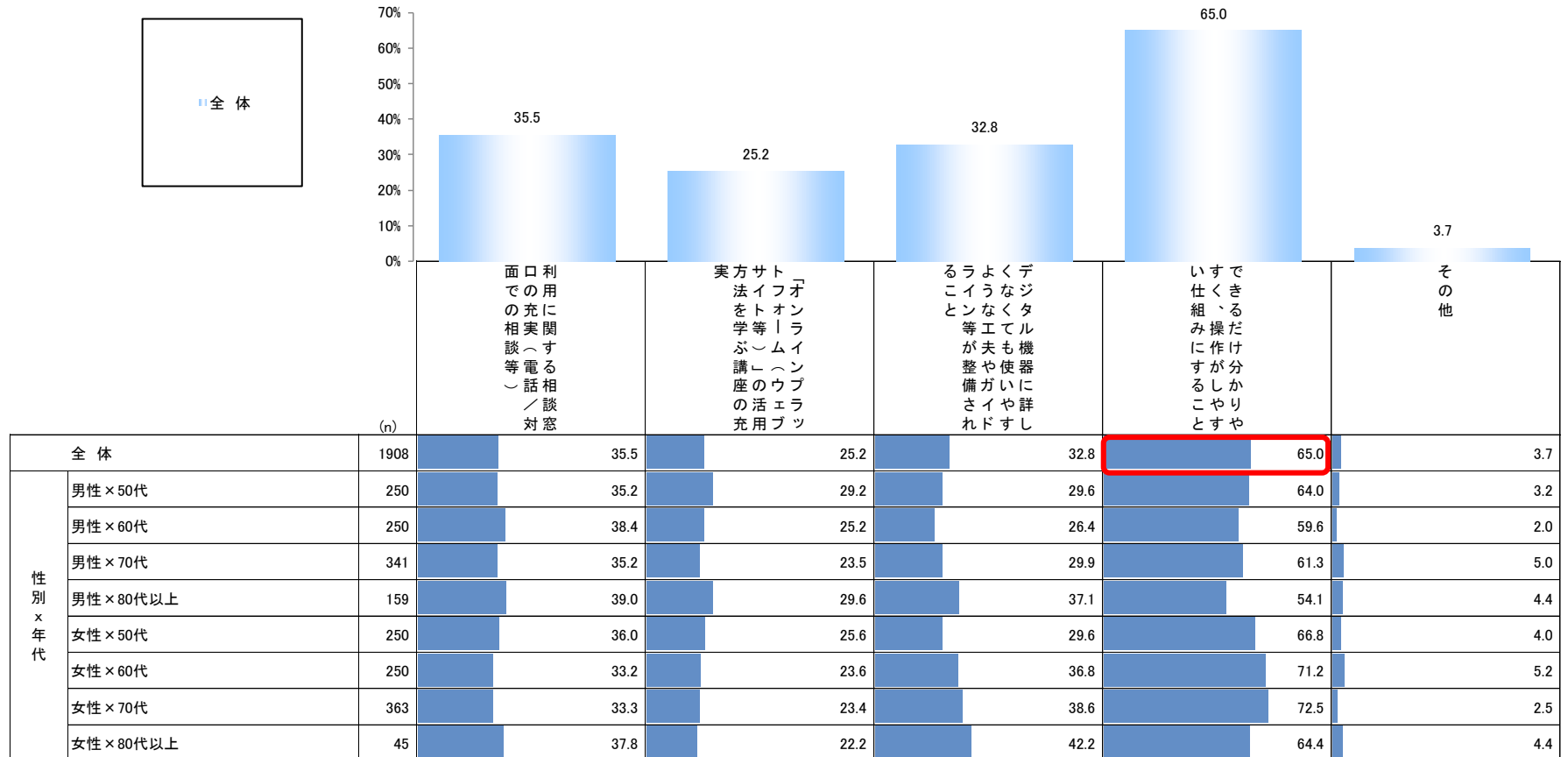
- オンラインプラットフォームの活用にあたって必要な支援としては、全体、性別・年代別のいずれでも「できるだけ分かりやすく、操作がしやすい仕組みにすること」が最も割合が大きく、全体では65.0%であった。

#### 3.オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用に関する認識

##### （5）オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）の活用にあたって必要な支援

どのような支援があれば「オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）」を利用しやすくなりますか。当てはまるものを全て選択してください。（複数選択）

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1908】



## 4.広域的な社会参加活動の現状・ニーズ (1) 他の区市町村の活動への参加状況

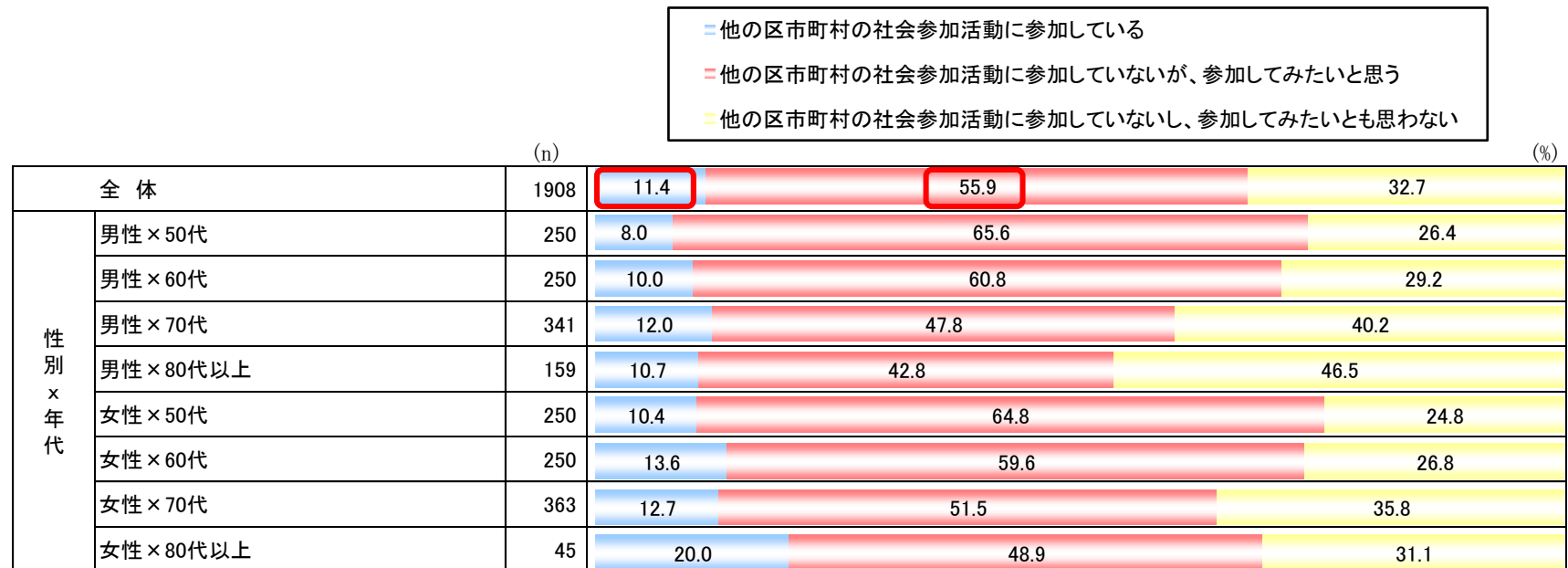
- 全体では、「他の区市町村の活動に参加している」が11.4%、「参加していないが、参加してみたいと思う」が55.9%であった。年代が上がるほど「参加していないが、参加してみたいと思う」の割合は特に男性において、やや低下する傾向がみられた。

### 4.広域的な社会参加活動の現状・ニーズ

#### (1) 他の区市町村の活動への参加状況

「オンラインプラットフォーム（ウェブサイト等）」に都内全域の様々な社会参加活動を一元的に集約することで、居住している区市町村以外の社会参加活動に関する情報収集、参加等がより一層促進されることが期待されます。現在居住している区市町村以外の社会参加活動への参加状況や参加意向としてあてはまるものを1つ選択してください。なお、ここでの「社会参加活動」は、就労、ボランティア、学び・趣味活動等を指します。（1つ選択）

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1908】



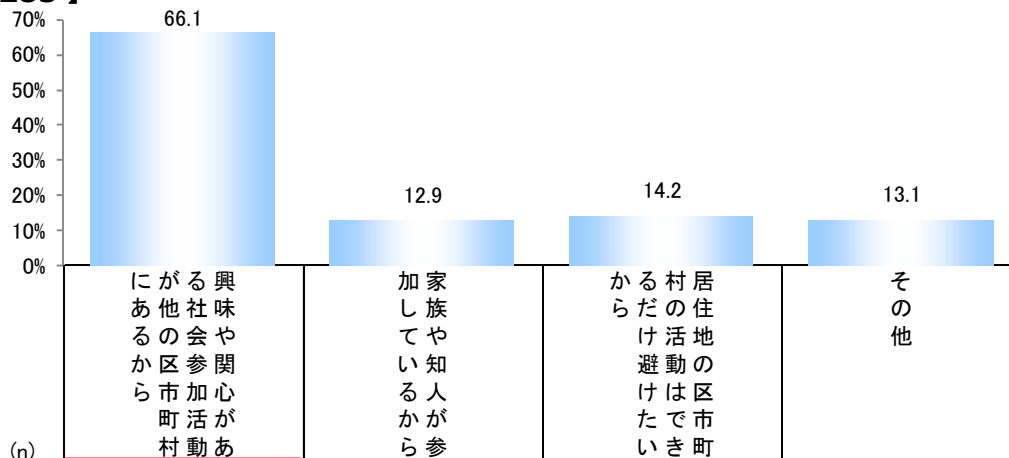
## 4.広域的な社会参加活動の現状・ニーズ (2) 他の区市町村の活動への参加理由

- 他の区市町村の活動への参加理由としては、全体、性別・年代別のいずれでも「興味や関心がある社会参加活動が他の区市町村にあるから」が最も割合が大きく、全体では66.1%であった。

### 4.広域的な社会参加活動の現状・ニーズ (2) 他の区市町村の活動への参加理由

現在居住している区市町村以外の社会参加活動に参加している又は、参加してみたいと思う理由として、あてはまるものを全て選択してください。(複数選択)

【単純集計、クロス集計(性別×年代)、n = 1285】



		(n)	興味や関心がある社会参加活動が他の区市町村にあるから	家族や知り人から参加	居住地の活動は区や市、町、村、いき町	その他
全体		1285	66.1	12.9	14.2	13.1
性別 × 年代	男性×50代	184	70.1	15.2	14.7	8.2
	男性×60代	177	67.8	8.5	14.1	13.6
	男性×70代	204	69.1	15.7	12.7	9.8
	男性×80代以上	85	68.2	17.6	15.3	8.2
	女性×50代	188	66.5	8.5	19.1	11.7
	女性×60代	183	60.1	11.5	14.8	19.1
	女性×70代	233	63.9	14.2	11.6	16.3
	女性×80代以上	31	58.1	19.4	3.2	22.6



## 4.広域的な社会参加活動の現状・ニーズ

### (3) 他の区市町村の活動に参加するにあたっての課題・ハードル

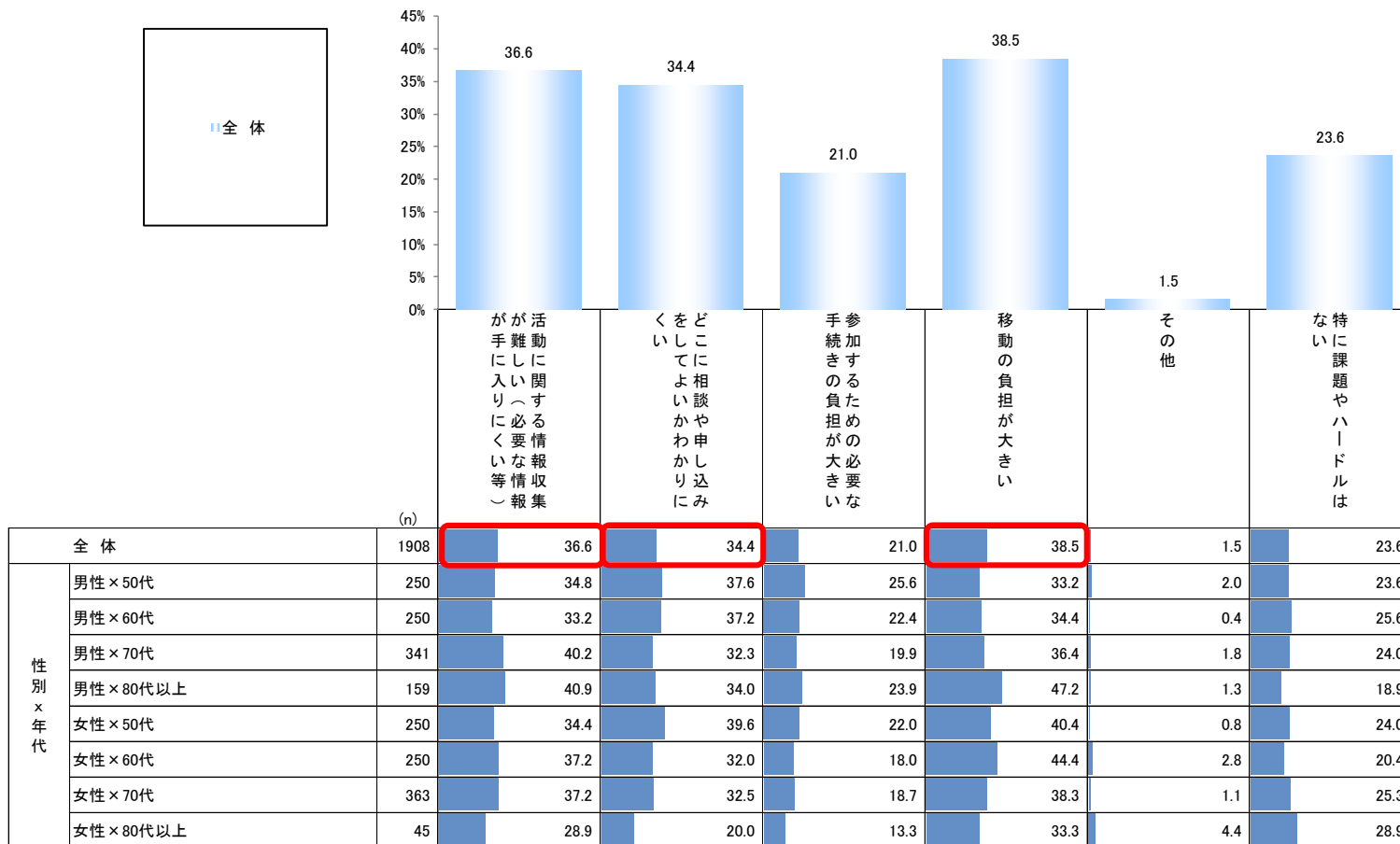
- 他の区市町村の活動に参加するにあたっての課題・ハードルとしては「移動の負担が大きい」が38.5%で最も割合が大きく、次いで「活動に関する情報収集が難しい」が36.6%、「どこに相談や申し込みをしてよいかわかりにくい」が34.4%であった。

#### 4.広域的な社会参加活動の現状・ニーズ

##### (3) 他の区市町村の活動に参加するにあたっての課題・ハードル

現在居住している区市町村以外の社会参加活動に参加するにあたっての課題やハードルとして当てはまるものを全て選択してください。  
(複数選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1908】



## 5.その他

### (1) 高齢になっても社会参加活動を続ける際の課題

- ・ 高齢になっても社会参加活動を続ける際の課題として、以下のような意見があげられた。

#### 5.その他

##### (1) 高齢になっても社会参加活動を続ける際の課題

高齢になっても社会参加活動を続けるためにはどのような課題がありますか。自分にあった活動の発見や、参加の後押しに関することなど、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由に記入してください。(自由記述)

#### 主な自由記述回答 (抜粋)

- **健康維持の必要性**
  - ・ あらゆる活動の前提として健康であることが必要。
- **自由に・気軽に参加できる場や機会の必要性**
  - ・ 参加を強制しないで、自分の時間がある時のみ参加したい。
  - ・ オンラインを活用して、時間や場所に束縛されないで活動したい。
  - ・ 同じ活動に参加する人の属性や相性が重要。合わなければ容易に離脱できることも必要。
  - ・ 都合のいい時だけ参加できるのがいい。
- **一緒に参加する仲間づくりの必要性**
  - ・ 1人で参加するのは、不安。気の合う仲間たちと、行動したいと思う。
  - ・ 活動の参加を誘い合える仲間がいること。くじけそうになったときに支えてくれる人がいること。
- **知識や経験を活かせる場や機会の必要性**
  - ・ 今迄の経験や体験をいかせる活動は抵抗が少ない。
- **欲しい情報が見つけやすい仕組みの必要性**
  - ・ 体に負担が掛からない程度に、社会参加活動を続けたいが情報が見つけにくい。
  - ・ 情報検索や相談窓口の更なる充実化に取り組んで欲しい。
  - ・ 情報を得ることが難しく、簡単に情報を得ることができれば、幅がひろがる。
- **セキュリティ対策の必要性**
  - ・ 運営元の健全性を保証する公的な認可制度と個人情報の漏洩や盗用に対するセキュリティ対策が必要。

# シニア・プレシニア向けアンケート調査結果 まとめ

## ＜社会参加活動の実施状況＞

- 社会参加活動（就労、ボランティア活動、学び・趣味活動）について、実施している割合よりも、実施したいと思っている割合が全般的に大きくなっており、意欲があるものの活動に至っていないケースが多く存在することが示唆された。

## ＜社会参加活動に関する相談、情報収集の状況＞

- 社会参加活動を行う際に区市町村窓口を利用している方は限定的であることが確認されたことから、窓口の拡充や利用促進に向けた周知等が必要であると考えられる。
- 「役所や自治会の広報誌」が「インターネット」と並んでシニア・プレシニアの主要な情報収集経路となっていることから、「役所や自治会の広報誌」と連携した情報発信を行うことが利用拡大に向けては重要であると考えられる。

## ＜オンラインプラットフォームの活用に関する認識＞

- オンラインプラットフォームの「利用したいと思う」割合は全体6割であった。また、プレシニアに限定すると「利用したいと思う」割合は約7割となっており、一定の利用ニーズが確認できた。
- 利用したいと思わない理由としては、「現状の仕組みでは特に困っていないから」、「登録手続きが面倒だから」といった理由が挙げられており、普及に向けては、オンラインプラットフォームならではの価値や利便性の訴求、登録手続きの簡易化などが重要であると考えられる。
- プラットフォームの機能としては、「活動情報の閲覧」、「活動情報の検索」、「活動への参加申し込み」のニーズが高く、これらの機能を優先的に実装することが必要と考えられる。

## ＜広域的な社会参加活動の現状・ニーズ＞

- 他の区市町村の活動に「参加している」又は「参加したいと思う」割合は約7割と高いニーズが存在することが示唆されており、都が中心となり広域的な仕組みを整備することの必要性があると考えられる。

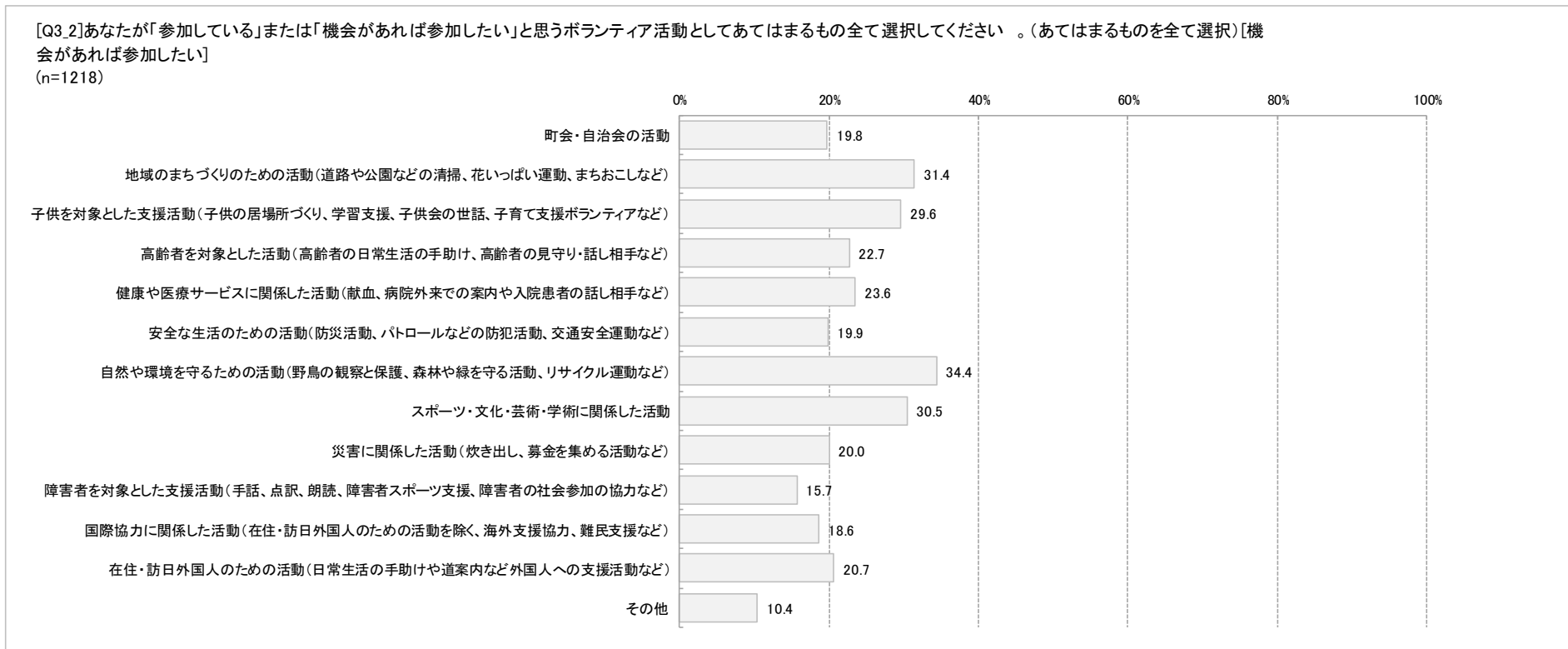
# 【参考】2020年度実態把握調査の概要（2021年1月実施）

- 東京都「将来の高齢者像と社会参加促進策に関する企画立案等業務委託」の一環として2021年に実施した実態把握調査の概要は以下のとおり。

高齢者の実態把握調査																													
調査対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都内に住む40歳以上の男女</li> </ul>																												
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webアンケート調査</li> </ul>																												
割り付け条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>40代、50代、60代、70代の4区分についてそれぞれ約500サンプル、80代以上については最大500サンプルとして実査期間中に回収できた件数までとした40代、50代、60代、70代の4区分については男女比が均等になるようにした</li> </ul>																												
回収サンプル	<ul style="list-style-type: none"> <li>2,588件（右記のとおり）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>2,588</td> <td>54.1%</td> <td>45.9%</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>551</td> <td>49.7%</td> <td>50.3%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>546</td> <td>50.2%</td> <td>49.8%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>556</td> <td>50.0%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>70代</td> <td>565</td> <td>49.6%</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td>80代以上</td> <td>370</td> <td>79.2%</td> <td>20.8%</td> </tr> </tbody> </table>		n	男性	女性	全体	2,588	54.1%	45.9%	40代	551	49.7%	50.3%	50代	546	50.2%	49.8%	60代	556	50.0%	50.0%	70代	565	49.6%	50.4%	80代以上	370	79.2%	20.8%
	n	男性	女性																										
全体	2,588	54.1%	45.9%																										
40代	551	49.7%	50.3%																										
50代	546	50.2%	49.8%																										
60代	556	50.0%	50.0%																										
70代	565	49.6%	50.4%																										
80代以上	370	79.2%	20.8%																										
調査日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年1月15日～16日</li> </ul>																												
主な調査項目	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【基本情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>性別、年齢、世帯構成、身体の状態</li> <li>暮らし向きの意識、ICT機器等の利用状況</li> <li>居住地域、最寄りの鉄道駅又はバス停までの距離</li> <li>外出頻度、外出手段、日々の居場所、外出していない理由</li> <li>地域や人との交流状況、日常生活に関する情報源</li> </ul> <p>【就労の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労の有無、仕事をしている理由、仕事をしていない理由</li> <li>今後の仕事の継続意向</li> <li>今後仕事をする（または、仕事を継続する）ために必要な支援</li> </ul> <p>【ボランティアの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアへの参加状況・参加意向</li> <li>ボランティアに参加するために必要な支援</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【趣味活動の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域等で活動している団体や組織への参加状況</li> <li>地域等で活動している団体や組織に参加するために必要な支援</li> </ul> <p>【都の取組等に関する認知・活用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政の取り組みに関する認知（認知・利用状況、効果認識）</li> </ul> <p>【将来の生活の意向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢期の過ごし方の希望</li> <li>社会参加するための移動に支障が出てきた場合に期待する支援</li> <li>社会参加に向けて活用したいデジタル技術の内容</li> </ul> </div> </div>																												

# 【参考】2020年度実施調査結果（抜粋）：参加してみたいボランティア活動

- 「機会があれば参加したい」ボランティア活動としては、「自然や環境を守るための活動」が34.4%で最も割合が大きく、次いで「地域まちづくりのための活動」が31.4%となっている。
  - ボランティア活動に「参加している」又は「機会があれば参加したい」と回答した1,218名を対象とした設問。



# 【参考】2020年度実施調査結果（抜粋）：地域等で活動している団体や組織への参加状況

- 「参加している」団体や組織としては「町内会・自治会」が22.7%で最も割合が大きい。「機会があれば参加したい」は「趣味のサークル・団体」34.5%、「学習・教養のサークル・団体」33.2%の順で割合が大きい。
  - 都内在住の40歳以上の男女2,588名を対象にWeb調査形式で実施。

